



とがみ

山形市立滝山小学校
学校だよりNo,2

令和6年6月3日
発行：校長 大城 勝利

「やさしく かしこく たくましく」

運動会への応援ありがとうございました！

5月25日、爽やかな5月の風が吹く中、本校の大運動会が開催されました。

『赤白両軍全力をつくし、楽しい運動会にしよう』のスローガンのもと、子どもたちは精一杯競技し、すばらしい運動会を創り上げることができました。

実行委員を中心に、応援団をはじめとする各係や学年・学級での準備・練習を積み重ね、滝山小全体が短期間で確実に成長したと思っています。

当日は、保護者の皆様のあたたかい声援が子どもたちのパワーになりました。誠にありがとうございました。

<開会の言葉 6年 K・Tさん>

今日は運動会本番です。今年のスローガンは『赤白両軍全力をつくし 楽しい運動会にしよう』です。結団式の時は整列や応援などの課題が多く見られました。しかし、今は各組がたくさん練習をし、すばやく整列ができたり、応援の振付や声がそろうようになってきました。

先週行われた徒競走の部では、今までにないくらい全力を出し切り、タイムを縮められた人が多くいたと思います。応援練習では相手に負けないような大きな声を出して練習に臨んでいました。今から始まる運動会でも、これまで練習してきたことを十分に発揮し、全力を出し切って運動会を楽しみ、盛り上げましょう。これから令和6年度運動会を始めます。



<実行委員長挨拶 6年 Y・Sさん>

赤白両軍が全力をつくし、最高の思い出になる運動会を創ることを自分のめあてに、実行委員会を進めてきました。初めは、1ヶ月という短い期間で運動会を創り上げ、進めていけるのか不安でした。しかし、実行委員会や応援団、各係のみなさんが、たくさん意見を出したり、積極的に活動してくれたりしたおかげで、自信を持って取り組むことができました。

また、当日を迎えることができたのは、今年度のスローガンにある、「全力」を合言葉に、一人一人が一生懸命取り組み、運動会に向けて気持ちを高めてきたからだと思います。

今日は運動会本番です。赤白両軍全力をつくして楽しみ、最高の運動会を創り上げましょう。

<閉会の言葉 6年 Y・Cさん>

私は昨年度も実行委員でした。その時の6年生は、自分から積極的に行動し、話し合いでもたくさん意見を出していました。

私は昨年の6年生にあこがれて今年も実行委員になりました。副委員長として話し合いを進める時に、最初は早口になったり言葉がつまったりしてしまいました。しかし、他の実行委員がやさしく耳を傾けて聞いてくれたおかげで、だんだん緊張しないで進めることができました。

みなさんも、今日の運動会を迎えるまでに、たくさん練習し全力を尽くしてきたと思います。どの学年も応援練習や学年部種目、全校種目など、自分の組が勝てるようにがんばっていました。

私は今日の運動会を終えて、全校生が全力で取り組んでいいと思いました。全校種目ではどちらの組も、大玉を転がす速さや声かけなどから、白熱している様子が見られました。赤白両軍協力してとてもよかったと思います。

運動会は終わりましたが、たくさんの方に全力を尽くしたことを忘れず、これからもいろいろなことに全力で取り組んでいきましょう。これで令和6年度滝山小学校大運動会を終わります。



<6年生の運動会振り返りより> ◎がんばったこと・成長したこと ※キーワードで
◎大きな声で応援できた。◎何事にも積極的に取り組んだ。◎あきらめなかった。
◎運動会を楽しめた。◎みんなをまとめ、リードできた。◎全力を出しきった。
◎恥ずかしがらないでできた。◎話をしっかり聞いた。◎協力できた。◎仲間が増えた。
◎下学年への接し方がわかった。

運動会で大事にしたいと思ったのは、当日のがんばりはもちろんですが、当日までの取り組みです。具体的には、各係や学年でめあてをもちながらあきらめず取り組む姿や、活動していく過程で、聞き合い、伝え合いながらよりよいものにしようとする姿、そして、赤白互いに競技した相手や自分たちの仲間を認め合う姿が、少しでも多く見られることをめざしました。

授業や放課後の活動を見てみると、子どもたちの言動のあちこちに、めざす姿を見ることができ、当日のあの気迫溢れる姿に繋がっていったのだとうれしく思いました。

また、スローガンにある「全力」というキーワード。私自身は最近自分に制限をかけてしまうことが多くなったような気がしていたので、自分たちの気持ちを高め、仲間と力の限り取り組んでいる子どもたちの姿を見てうらやましく思いました。

全力で楽しむ滝山っ子たち、そして、それを見守り、応援してくださっている保護者・地域の皆様の姿。「いいねえ滝山小」と心から思えた1日でした。